



新教育目標
かしこく
やさしく
しなやかな
栗島の子

栗 島

平成31年4月8日
学校だより 4月号
足立区立栗島小学校
校長 八木 雅治



「ありがとう」の 輪を広げましょう！

校長 八木 雅治

平成31年4月1日、校庭で満開になっている桜のもと平成31年度がスタートしました。併せて、新元号「令和」も発表されました。いろいろな意味が込められている事を考えて今後の事を思うと、新たな気持ちがいよりの高まりました。学校でも新年度に向けてたくさんの準備をして、子供たちと平成31年4月8日に平成31年度を迎えたことをうれしく思います。

新元号「令和」を迎えたこの年、栗島小学校の教育活動は学習指導要領の完全実施や校舎の大規模改修等を踏まえて、学校行事や授業時数、日常の活動など、大きく改変していく過渡期となります。（詳細は次ページ以降をご覧ください）

そのような中、それぞれ1学年ずつ進級した子供たちが、それぞれに新たな思いを胸に秘め、元気に登校してきました。そんな子供たち一人一人の意欲や学びの成果を少しでも伸ばしていくために、今年度も教職員一丸となって取り組んで参ります。

さて、あらためてお話しすることではないかとも思いますが、「ありがとうございます」という言葉は不思議な力をもっていると思います。

ある本の中には「感謝を深めていくことが人生の真の目的である。感謝は一筋の生き方を実行することによって、本当の幸せをつかむことができる。」

「他の幸せのために奉仕し、他の幸せを喜べる者は、必ず幸せになれる。」と書いてありました。

最近の新聞やテレビ等のニュース報道では、思わず目を覆いたくなるような、耳をふさぎたくなるような出来事が多いのですが、反面、電車やバスで様々な立場の人が年配者等に席をゆずる光景を見かけることも増えてきたように思います。

先日は、学校の周囲を走るコミュニティバスを降りるとき、私の前で降りた小学2年生ぐらいの男の子が「運転手さん、どうもありがとうございました。」と大きな声でお礼を言って、降りていきました。その言葉を聞いた運転手さんも「ありがとう」と応えていました。

栗島小学校でも、私の話をしっかりと聞いてくれた子供たちに「ありがとう」と伝えます。そして校長室を訪ねてきた子が、校長室から出るときに、「ありがとうございました」と、たくさんの子供たちもお礼を言っていきます。「ありがとう」のひとつが、周囲を和ませてくれます。

ありがとうと言われるように、言うように、ありがたいと思う心が、今日の幸せなのでしょう。

今年度も、どうぞ、よろしく願い申し上げます。



人格の完成をめざして 4月のテーマ 「あいさつ」

*自分から進んであいさつをしていますか？

- ・新しい人とのかかわりを大切にするためにも取り組みましょう。
- ・**あ**かるい声で **い**つでも **さ**きに **つ**げよう